

2-3 高齢者

No	施策	事業名	事業概要	事業実績	進捗	順調でない理由	今後の取組み	担当局等	再掲
1	健やかでいきいきとした生活の実現	敬老パスの交付	高齢者の社会参加を支援するため、65歳以上の高齢者に市営交通機関等に乗車できる敬老パスを交付	・交付人数 315,140人	☆☆☆			健康福祉局	
2	健やかでいきいきとした生活の実現	高齢者就業支援センター事業	就業を通じた高齢者の社会参加を支援するため、就業に関する相談や情報提供、技能講習を実施	・高齢者の就業に関する相談や情報提供、技能講習を実施 就業相談 3,856人 情報提供 456人 技能講習 790人 交流啓発 863人	☆☆☆			健康福祉局	
3	健やかでいきいきとした生活の実現	シルバー人材センター事業	高齢者が豊かな知識や経験を生かして生きがい高め、社会活動を行うことができるよう、臨時的・短期的な就業の場を提供	・シルバー人材センター事業への補助を実施	☆☆☆			健康福祉局	
4	健やかでいきいきとした生活の実現	鯨城学園	高齢者の生きがい高め、地域活動の推進的役割を果たすことのできる人材を養成するため、学習の場を提供(入学定員760人)	・休校	☆	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため	令和3年度も引き続き休校とする 令和4年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を適切に講じた上で事業の実施を予定	健康福祉局	
5	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	なごやか収集	家庭から排出されるごみや資源を所定の排出場所まで持ち出すことが困難な高齢者や障害者等に対し、ごみや資源の排出の支援を図るため、玄関先で収集する事業を実施	・件数 4,065件 ※高齢者世帯に準ずる世帯を含む。 ※障害者世帯を除く。	☆☆☆			環境局	2-4再
6	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	高齢者福祉相談の実施(再掲)	ひとり暮らし高齢者などの福祉の増進をはかるため、各区・支所に高齢者福祉相談員を配置し、各種相談に応じるとともに適切な指導を実施(相談員数54人)	・区役所及び支所に計54名配置 訪問世帯数 144,623世帯 相談内容(上位3位) その他 75,960件 健康 49,482件 生活 14,967件 ・その他 安否確認、孤独感緩和、外出中(不在)等	☆☆☆			健康福祉局	1-4再
7	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	緊急通報装置(あんしん電話)の貸与	心臓病などの慢性疾患がある虚弱なひとり暮らしの高齢者等が安心して生活できるよう、救急や火災などの際に非常連絡ができる特殊電話機を貸与	・貸与台数 1,875台	☆☆☆			健康福祉局	
8	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	排せつケア相談支援事業	高齢者の排せつケアに関して、在宅介護者等への相談対応や、いきいき支援センター職員等への研修を実施	・相談件数 452件 ・研修開催回数 4回 ・研修参加者 81人	☆☆☆			健康福祉局	
9	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	介護・保健・福祉相談窓口(再掲)	区役所福祉課の介護・保健・福祉に関する相談窓口において、さまざまな相談を実施	・区役所福祉課の介護・保健・福祉に関する相談窓口において、さまざまな相談を実施	☆☆☆			健康福祉局	1-4再

2-3 高齢者

No	施策	事業名	事業概要	事業実績	進捗	順調でない理由	今後の取組み	担当局等	再掲
10	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	いきいき支援センター(地域包括支援センター)における援助・支援(再掲)	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、いきいき支援センターにおいて高齢者の健康の保持および生活の安定のために必要な援助・支援、並びに高齢者の孤立死防止の取り組みを促進するため、専任の見守り支援員を各1人配置し、個別ケースへの対応や電話による見守り活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 391,220件 相談内容(上位3位) 要支援者の支援 314,794件 総合相談・支援事業 36,130件 介護予防・生活支援サービス事業者への支援 24,257件 高齢者見守り支援事業 電話・面接延件数 19,609件 見守り電話延回数 26,630回 	☆☆☆			健康福祉局	1-4再
11	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	認知症の人やその家族への支援	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう必要な支援体制を確立	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の方を介護する家族への支援事業 認知症専門部会 認知症サポート医養成、かかりつけ医、医療機関の認知症対応力向上研修 認知症普及啓発推進事業 認知症疾患医療センター 認知症相談支援センター はいかい高齢者おかえり支援事業 はいかい高齢者検索システム事業 認知症地域支援体制づくり推進事業 等 	☆☆☆			健康福祉局	
12	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	認知症地域支援体制づくり推進事業	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、「認知症初期集中支援チーム」と「認知症地域支援推進員」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築するとともに医療と介護の連携強化を推進	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム チーム数 29チーム 訪問対象者数 597人 延訪問回数 2,711回 チーム員会議 533回 認知症地域支援推進員 人数 29人 関係機関との連絡調整・相談 5,017回 認知症カフェの開設・運営支援 1,386回 認知症サポーターの活動支援 1,890回 	☆☆☆			健康福祉局	
13	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	認知症相談支援センター運営事業(再掲)	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう、認知症相談支援センターにおいて、地域におけるネットワーク体制の構築や認知症コールセンターの運営、若年性認知症者とその家族に対する支援、なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業受付事務局の運営を実施	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整、相談件数 11,119件 研修、会議等参加回数 241回 なごや認知症カフェ登録件数 217件 認知症コールセンター延相談件数 930件 若年性認知症延相談件数 989件 保険事業加入者数 1,118人 保険事業相談件数 889件 	☆☆☆			健康福祉局	1-4再
14	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	高齢者虐待防止事業の推進(再掲)	高齢者虐待の防止のために早期発見、早期対応をめざし、高齢者虐待相談センターおよびいきいき支援センターなどにおいて相談・支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数(各機関において受理した件数) 計591件 高齢者虐待休日・夜間電話相談窓口 延べ29件 区高齢者虐待防止ネットワーク支援会議 93回(うちSV参加(再掲)6回) 高齢者短期入所ベッド確保等事業利用状況 48人、延べ2,993日(うちやむを得ない措置(再掲)12人、858日) 	☆☆☆			健康福祉局	1-4再

2-3 高齢者

No	施策	事業名	事業概要	事業実績	進捗	順調でない理由	今後の取組み	担当局等	再掲
15	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	障害者・認知症高齢者権利擁護事業(再掲)	障害者や認知症高齢者が地域で安心して生活できるよう、権利擁護、財産管理の相談を実施するとともに金銭管理・財産保全など必要な援助を実施	・障害者・高齢者権利擁護センター3事務所(北部、南部、東部) ・相談件数 計31,498件 相談内容(上位3位) 日常的な金銭管理 31,155件 福祉サービスの手続き等 81件 今後の生活設計等 48件 ・契約者数(年度末現在) 計1,461人	☆☆☆			健康福祉局	1-4再 2-4再
16	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	成年後見あんしんセンターにおける支援(再掲)	成年後見あんしんセンターにおいて、判断能力が十分でない人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように成年後見制度の利用支援と、市民後見人の養成と支援を実施	・一般相談(電話1,254件(延べ1,543件)、来所127件(延べ188件)、訪問18件(延べ23件)、その他63件(延べ90件)) 相談内容(上位3位) 法定後見の利用・申立支援 931件 市長申立 277件 後見等開始後の事案について 132件 ・市民後見人候補者バンク登録者数(年度末現在) 107人 ・市民後見人受任件数(年度末現在) 59件	☆☆☆			健康福祉局	1-4再 2-4再
17	地域で安心して暮らすための支援体制の充実	福祉給付金の支給	高齢者の福祉の増進をはかるため、一定以上の障害がある高齢者やねたきり・認知症等の高齢者に対して医療費自己負担分を助成	・対象者 55,255人	☆☆☆			健康福祉局	
18	自立して生活するには不安がある方への支援	介護サービス事業者自己評価・ユーザー評価事業	介護サービスの問題点を把握し、運営を改善するため、サービスの提供者と利用者がそれぞれ評価する事業を事業者団体と共催で実施	・参加事業所数 873事業所	☆☆☆			健康福祉局	
19	自立して生活するには不安がある方への支援	介護事業所の指導	介護サービスの質の確保を図るため、介護事業所に対する指導を実施	・実地指導 51事業所 セルフチェックシートの作成 ・集団指導 ホームページへの資料掲出	☆☆☆			健康福祉局	
20	自立して生活するには不安がある方への支援	介護サービス情報の公表	利用者や家族が適切に介護事業所を選択できるよう、介護事業所から報告されたサービス内容等の情報を公表するとともに、公表内容を確認するための調査を実施	・公表事業所数 3,356事業所 ・調査事業所数 361事業所	☆☆☆			健康福祉局	
21	自立して生活するには不安がある方への支援	在宅介護基盤の充実	できる限り住み慣れた地域や家庭で生活ができるよう、在宅介護基盤の充実を図るため、介護サービス事業者の指定や事業者に対する情報提供を推進	・在宅系サービス 累計3,554か所	☆☆☆			健康福祉局	
22	自立して生活するには不安がある方への支援	特別養護老人ホームの整備	常時の介護を必要とし、在宅での生活が難しい高齢者の日常生活を支援するため、入浴、食事、排せつなどの介護や機能訓練を行う入所施設を整備	・開設 1か所(累計 120か所、定員 8,800人) ・着工 1か所	☆☆☆			健康福祉局	

2-3 高齢者

No	施策	事業名	事業概要	事業実績	進捗	順調でない理由	今後の取り組み	担当局等	再掲
23	自立して生活するには不安がある方への支援	介護人材の確保・育成等の推進	介護人材の確保・育成及び定着をはかるため、研修事業を実施するとともに、外国人介護人材の育成支援など介護事業者が行う人材確保・育成に向けた取り組みに対し経費の一部助成を実施するほか、介護ロボットの活用を促進	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講人数 858人 ・助成件数 757件 ・介護ロボット活用推進事業セミナー等 7回 	☆☆☆			健康福祉局	
24	安心して暮らすことができる生活の場の確保	高齢者向け賃貸住宅の供給促進(再掲)	サービス付き高齢者向け住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、シルバーハウジング等のバリアフリー化された住戸に緊急通報や安否確認等の生活支援サービス等が付加された民間賃貸住宅及び公的賃貸住宅の供給を促進	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け賃貸住宅の供給戸数 5,648戸 	☆	高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数及びサービス付き高齢者向け住宅の登録戸数等が少なかったため。	高齢者の多様な居住ニーズに対応するため、バリアフリー化され、見守りや緊急時対応サービスを備えた、身体状況に応じ必要なサービスの提供がある民間の高齢者向け賃貸住宅の登録等を通じて、その供給を促進	住宅都市局	1-3再
25	安心して暮らすことができる生活の場の確保	住宅確保要配慮者に対する居住支援の促進	高齢者や障害者などの住宅確保要配慮者の入居を受け入れる民間住宅の情報提供、入居円滑化などを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・居住支援コーディネートモデル事業の実施(R2.12～) ・栄地下街住まいの窓口「民間賃貸住宅入居相談」の実施 月2回(～R2.11) 月3回(R2.12～) ・名古屋市住宅確保要配慮者居住支援協議会の開催 ・住宅確保要配慮者向け制度案内リーフレットの発行 	☆☆☆			住宅都市局	2-4再